

見て下さい、ひたむき演技

桐生の養護学級生徒とOB劇団

桐生市立昭和中学校養護学級の生徒とOBらで結成する劇団「ブーメラン」(黒崎慧団長)が初めて桐生市を飛び出し、二十六日、前橋市の県民会館でミュージカルと英語劇の公演を行う。指導している劇団代表の同中養護学級担任前原通宏さん(左)は「プロではないので、魅せる演技はできない。しかし、ひたむきな姿は感動を呼び起こす。一般の方にもぜひ足を運んでほしい」と呼び掛けている。



前原通宏さん

ブーメランの発足は一鶴を發表したのがきっかけ。閉幕と同時に、大と振り返る。生徒が演劇九九年、同校文化祭で。大きな拍手と「よかったの継続を望み、翌九九年、OBを巻き込んでブーメランが発足した。現声(前原さん)は「絶対に同情的拍手でないことは分かった。生徒にも伝わっている。」

前原さんは「演技の素人だから、表現などは教えることができない。だから、劇は自分の出番だけでないことなど、責任があることを学んでほしい」と言う。初の前橋公演を控えて、劇団は週一回の猛練習に入った。

前橋公演は県民会館小ホール二十六日午後一時会場、同一時半開演。演目はミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」と英語劇「白雪姫」。入場無料。問い合わせは昭和中の前原さん 電話0277(44)2472へ。



本番さながらのけいこが続くブーメラン団員＝桐生市で

26日、初の「遠征公演」

前橋で『サウンド・オブ・ミュージック』

472へ。